

明治前期の都市電報統計の解説

藤井信幸『テレコムのエconomic史』勁草書房, 54 ページ以下も必ず参照のこと。

近代的な政治・経済制度が確立していない明治前期に関しては、明治後期以後と比べると利用可能な統計データが少ないが、この時期に限定された種々の統計調査が実施されており、それらを利用・加工することにより、明治後期以後との統計的比較がある程度可能である。

ここでは、電信が普及し始めた 1880 年代（1880 年、1886 年、1889 年）の各都市の電報発信数と人口を掲げる。この時期には、都市に電信が普及し始めたばかりで、農村にはまだ電信取扱施設は設けられていない。なお、府県別の電報発信数は『日本帝国統計年鑑』に掲載されており、比較利用が容易なので割愛する。